

平成30年度セグメントシート (国民生活センター)

セグメント名	独立行政法人国民生活センター運営費交付金 (商品テスト事業)			担当部局庁	消費者庁	作成責任者	
事業開始年度	平成15年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	消費者教育・地方協力課	課長 尾原 知明	
会計区分	一般会計						
セグメント単位の 考え方							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	消費者基本法第25条 独立行政法人国民生活センター法第10条			関係する計画、 通知等	独立行政法人国民生活センター中期目標及び中期計画		
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費		
事業目的 (目指す姿を簡潔 に。3行程度以 内)	① 全国の消費生活センター等に寄せられる消費者からの製品等に関する苦情相談を解決するため ② 拡大被害のおそれがある商品群の問題点を明らかにし、国民・消費者に注意喚起するため 消費生活に関わる商品全般(住居品、乗り物、食品、衣類等)のテストを実施する。						
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	① 消費者からの苦情相談を解決するためのテスト事業 ② ①の事業及びPIO-NET(全国消費生活情報ネットワークシステム)情報を分析して拡大被害のおそれがある商品群をテストし、国民・消費者に注意喚起する事業 ③ 全国の消費生活センター等からの商品・技術に関する相談等に対する助言・情報提供を行う事業 ④ 全国の消費生活センターを対象とした、商品テストを実施する上での技術向上のための「商品テスト技術評価研究会」、「商品テスト企画会議」の開催事業 ⑤ 参画医療機関から消費生活上の事故情報を収集する医療機関ネットワーク事業						
実施方法	交付						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度要求	
	予算額: 運営費交付金	354	364	506	476		
	執行額	運営費交付金	330	345	506		
		補助金等	-	-	-		
		その他	140	0	0		
		計	470	345	506		
	運営費交付金収益の割合	70.2%	100.0%	100.0%			
	運営費交付金収益化基準	費用進行基準	業務達成基準	業務達成基準	業務達成基準		
	経常費用	予算額	487	489	555	488	
		執行額	470	466	453		
執行率		97%	95%	82%			
平成30・31年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	30年度当初予算	31年度要求	主な増減理由			
	【支出】						
	業務経費	210					
	一般管理費	-					
	人件費	266					
	【収入】						
	その他	0	0				
計	476	0					

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 30年度	目標最終年度 -年度
	関係行政機関への情報提供を積極的に行う。		関係機関へ情報提供し、行政処分や業務改善等の対応件数	成果実績	件	2	2	4	
目標値				件	-	-	-	-	-
達成度				%	-	-	-		
根拠として用いた統計・データ名(出典)	-								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 30年度	目標最終年度 -年度
	消費生活相談情報の収集・分析結果等を基に、関係行政機関等に対して制度等に関する改善要望を積極的に行う。		行政機関へ改善要望し、行政処分や業務改善等の対応件数	成果実績	件	5	8	6	
目標値				-	-	-	-	-	
達成度				%	-	-	-		
根拠として用いた統計・データ名(出典)	-								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込
	生活実態に即した商品テストの実施		活動実績	件	197	224	211	-	-
			当初見込み	件	263	263	263	224	-
単位当たり コスト	算出根拠			単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込	
	商品テスト実施に係る経費/商品テスト実施件数		単位当たりコスト	円	228,023.4	228,940.2	271,135.1	-	
			計算式	円/件	44,920,605/197	51,282,614/224	57,209,500/211	-	

独法等所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	消費者から寄せられた製品等に関する苦情相談を解決するための商品テストや、拡大被害のおそれがある製品の商品テストを実施し、問題点について消費者に注意喚起をしており、国民や社会のニーズを反映しているといえる。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	全国の消費生活センター等からの商品・技術に関する相談等に対する助言・情報提供の実施は、全国の消費生活センターを支援するための業務であり、地方公共団体や民間団体が行うのは困難である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	消費者行政の中核的实施機関として、全国の消費生活センター等からの商品・技術に関する相談等に対する助言・情報提供を行い、全国の消費生活センターの支援を行っていることから、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	原則的に一般競争入札を実施しているが、結果的に一社応札になっているものや競争性のない随意契約になっているものについても、類似する製品・サービスを参考比較の上、契約している。	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	消費者から寄せられた製品等に関する苦情相談を解決するための商品テストや、拡大被害のおそれがある製品の商品テストを実施し、問題点について消費者に注意喚起実施するための経費であり、国として推進すべき事業を(独)国民生活センターが実施していることから、受益者との負担関係は妥当である。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	原則として、一般競争入札を実施しており、コスト等の水準は妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-	
事業の有効性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	国民生活の安定及び向上に寄与するための極めて重要な各事業の実施のために、適切な配分、効率化・合理化の上で支出されている。	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	一般管理費及び業務経費について、中期計画等に沿って効率化を図っている。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	直近の実績をベースに成果目標を設定しており、着実に事業が実施されたことが独立行政法人評価制度において確認されていることから、成果実績は成果目標に見合ったものである。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業者の選定に当たっては、一般競争を原則としており、競争性を確保しコスト低減を図っている。	
関連事業	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	中期計画・年度計画での目標値を達成しており、見込みに見合っている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-		
	所管府省名	事業番号		事業名
点検・改善結果	点検結果	苦情相談を解決するための商品テスト、注意喚起のための商品テストを実施するとともに、全国の消費生活センター等への助言・情報提供を行うことで、地方支援を行っている。		
	改善の方向性	引き続き、注意喚起のための商品テストを積極的に実施するとともに、地方公共団体からの依頼のあった商品テストについても、全件対応する。また、独立行政法人改革の一環として策定することとされた調達等合理化計画に沿って、一層の調達の合理化を進める。一者応札となった場合は、要因分析を行うとともに契約監視委員会での検証を行い、改善に努める。		
備考				

※平成29年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

消費者庁



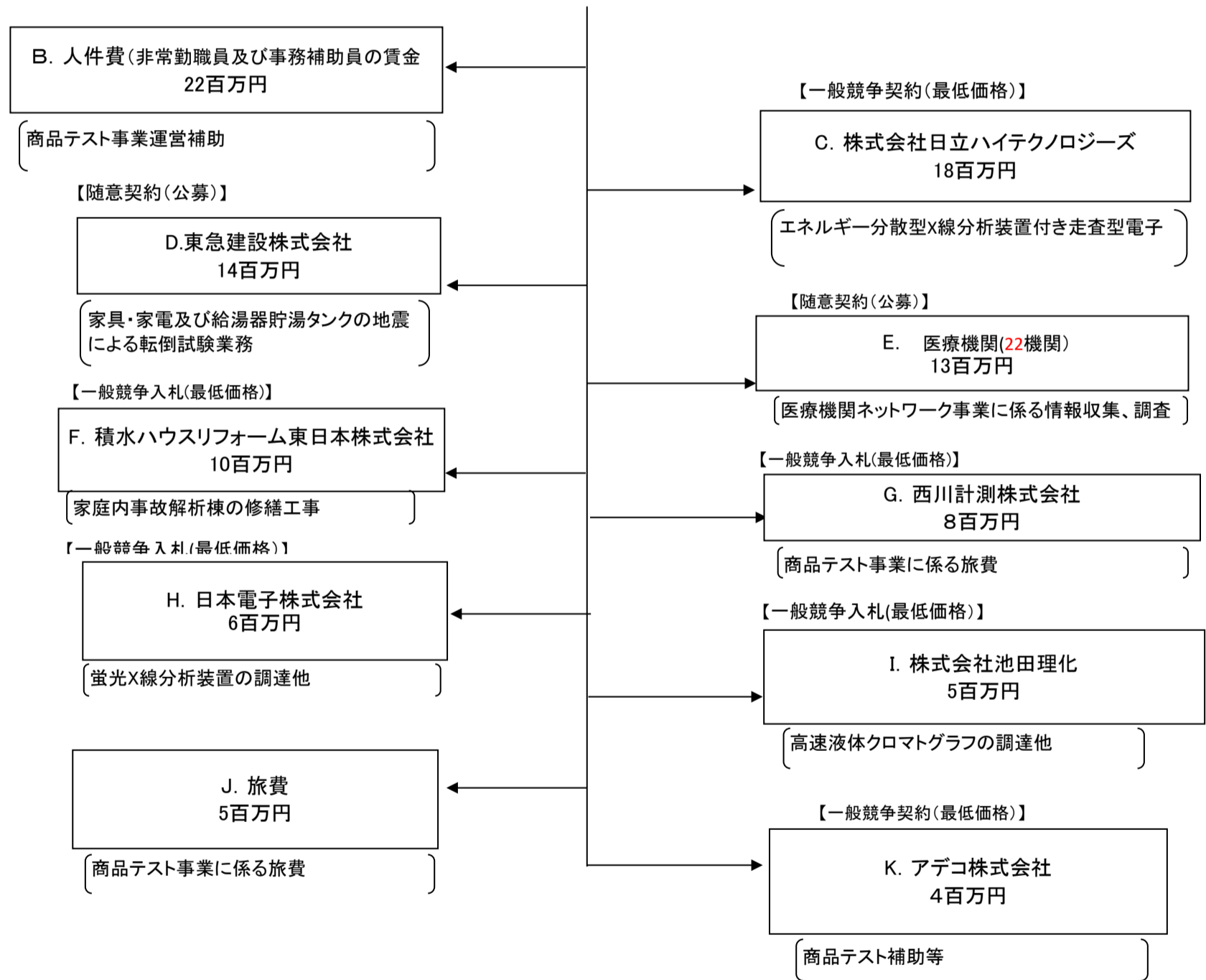
【運営費交付金】
〔独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第46条に基づく法律補助〕

A.. (独)国民生活センター(商品テスト事業)
236百万円

全国の消費生活センター等に寄せられる消費者からの製品等に関する苦情相談を解決するため、拡大被害のおそれがある商品群の問題点を明らかにし、国民・消費者に注意喚起するため、消費生活に関わる商品全般(住居品、乗り物、食品、衣類等)のテストを行う。具体的には以下のとおりである。

- ①消費者からの苦情相談を解決するためのテスト事業
- ②①の事案及びPIO-NET(全国消費生活情報ネットワークシステム)情報を分析して拡大被害のおそれがある商品群をテストし、国民・消費者に注意喚起する事業
- ③全国の消費生活センター等からの商品・技術に関する相談等に対する助言・情報提供を行う事業
- ④全国の消費生活センターを対象とした、商品テストを実施する上での技術向上のための「商品テスト技術評価研究会」「商品テスト企画会議」の開催事業
- ⑤参画医療機関から消費生活上の事故情報を収集する医療機関ネットワーク事業

資金の流れ
(資金の受け取り先が何をしているかについて補足する)
(単位:百万円)



※職員人件費270百万円は除外している

費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックごと に最大の金額が支 出されている者につ いて記載する。 費目と使途の双方 で実情が分かるよ うに記載）	A.(独)国民生活センター(商品テスト事業)			B.人件費(非常勤職員及び事務補助員の賃金)		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	運営費交付金	商品テスト事業の運営費に関する経費	236	人件費	非常勤職員賃金	17.8
				人件費	事務補助員賃金	4.6
	計		236	計		22.4
	C.株式会社日立ハイテクノロジーズ			D.東急建設株式会社		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	固定資産	エネルギー分散型X線分析装置付き走査型電子顕微鏡の調達	18	外部委託費	家具・家電及び給湯器貯湯タンクの地震による転倒試験業務	14
	計		18	計		14
	E.医療機関(22機関)			F.積水ハウスリフォーム東日本株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
外部委託費	医療機関ネットワーク事業に係る情報収集、調査等業務	13	保守・修繕費	家庭内事故解析棟修繕工事	10	
計		13	計		10	
G.西川計測株式会社			H.日本電子株式会社			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
固定資産他	ガスクロマトグラフ-質量分析計システム一式の調達	7	固定資産	蛍光X線分析装置一式の調達	5.7	
保守・修繕費	ガスクロマトグラフ-質量分析計システムの修理	0.9	保守・修繕費	走査型電子顕微鏡の保守	0.4	
計		7.9	計		6.1	
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック <input checked="" type="checkbox"/>

支出先上位10者リスト

A.(独)国民生活センター(商品テスト事業)

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(独)国民生活センター	4021005002918	商品テスト事業の運営費に関する経費	236	運営費交付金交付	-	-	

B.人件費(非常勤職員及び事務補助員の賃金)

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	非常勤職員賃金	-	商品テスト事業運営補助	17.8	-	-	-	
2	事務補助員賃金	-	商品テスト事業運営補助	4.6	-	-	-	

C.株式会社日立ハイテクノロジーズ

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社日立ハイテクノロジーズ	4010401021648	エネルギー分散型X線分析装置付き走査型電子顕微鏡の調達	18	一般競争契約(最低価格)	2	78.8%	

D.東急建設株式会社

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東急建設株式会社	9011001040166	家具・家電及び給湯器貯湯タンクの地震による転倒試験業務	14	随意契約(公募)	-	-	

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	I.株式会社池田理化			J.旅費		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	固定資産等	高速液体クロマトグラフシステムの調達	4	旅費	商品テスト事業に係る旅費	5
	固定資産	超純水製造装置及び純水製造装置の調達	1			
	外部委託費	液体クロマトグラフ点検等	0.1			
	計		5.1	計		5
	K.アデコ株式会社			L.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	外部委託費	商品テストに係る補助等	3.8			
	計		3.8	計		0

I.株式会社池田理化								
	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社池田理化	3010001010696	高速液体クロマトグラフィシステムの調達	4	一般競争契約 (最低価格)	3	34.3%	
2	株式会社池田理化	3010001010696	超純水製造装置及び純水製造装置の調達	1	随意契約 (少額)	-	-	
J.旅費								
	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	旅費	-	商品テスト事業に係る旅費	5	-	-	-	
K.アデコ株式会社								
	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	アデコ株式会社	8010401001563	商品テストの補助等	4	一般競争契約 (最低価格)	-	-	